

【認知機能推定 AI】 Mindstrong

①要約：

このアイデアは、AI を使用してスマートフォンを介して認知症を検出することに焦点を当てています。高齢化社会の中で認知症患者が増加している中、スマートフォンやウェアラブルデバイスから収集した情報を解析し、認知状態を判断することで、診断や治療に役立てることを目指しています。

②目的：

主な目的は、高齢者やスマートフォンを使用する人々に対して、簡単な手段で認知症を検出し、早期診断や介入を行うことです。これにより、病気の進行を遅らせたり、予防することが可能になります。

③新規性：

このアイデアの新規性は、スマートフォンやウェアラブルデバイスから得られる情報を使用して認知症を判断するという点にあります。従来の方法ではなく、日常のデバイスや操作に基づいて診断を行うことで、より手軽かつ効果的なアプローチを提供しています。

④独自性：

このアイデアの独自性は、個人情報保護に配慮しながら、普段のスマートフォンの使用状況から認知状態を判断する点にあります。また、遠隔診断にも活用されることで、病院への移動が難しい場合でも診断を受けることが可能となります。

⑤経済価値：

このアイデアは、診断や治療にかかるコストを削減し、早期の認知症検出により、治療効果や患者の生活の質向上につながるため、経済的な価値が高いと言えます。また、遠隔診断の需要が高まる中で、市場での需要も見込まれる可能性があります。